

# ペットショップの老舗、 顧客情報管理でさらなる充実へ



POINT

POSレジの導入で  
顧客管理が  
しやすくなりました。



## 株式会社 金鳥園

代表取締役  
藤田 秀文 Fujita Hidefumi  
〒010-0965  
秋田市八橋新川向2-15  
TEL.018-862-6451  
<https://www.kinchoen.com>

## 創業75年。変化するペット業界

秋田市の「株式会社 金鳥園」は、昭和22年の創業。ニワトリやその飼料を取り扱う店として始まり、「ペット」という言葉が普及してからは、犬猫にまつわる商品やサービスを中心に、長きにわたりその文化を支えてきた。

「ここ20年ほどで、この業界も様変わりしました」と話すのは、代表の藤田秀文氏。市場は拡大しているものの、チェーン店、量販店が主流となり、個人事業者はほとんどなくなったという。同店も、かつては5店舗あったところを1店舗に集約したが、10年ほど前からオンライン販売にも力を入れ、販路を全国へと広げている。形を変えながらもそのバイタリティーは止まることを知らない。

## 「ペットライフ」に寄り添う店

同店の最大の魅力は専門店ならではの品揃え。ペットフードにおいては、より素材にこだわった「プレミアムフード」と呼ばれるものが多数並ぶ。これらは藤田氏が自ら

リサーチし、取り寄せているもので、フードの先進国といわれる欧米からの希少なものと、県産食材を使った安心安全なものなどが、犬猫の種類、年齢、目的によって細分化されている。

「ペットの長生きには良いフードの導入が不可欠です。日々刷新されるフードの世界。店頭で直接相談いただけるのが専門店の強みだと思っています」と藤田氏。

現在、顧客会員は1万6千人以上。より充実した情報管理を目指し、このたび、センターの設備貸与事業を活用してPOSレジを導入した。これにより、これまで以上に細分化されたデータが取れるようになり、購入履歴の確認や、会員向けのキャンペーンの案内作業もよりスムーズになったという。

同店のキャッチコピーは「ペットライフショップ」。「動物も家族の一員。ペットと飼い主がよいコミュニケーションでお互いが長生きできることを願っています」と藤田氏は語る。



犬猫用の白神山地の水、鳥用のヒエ、アワなど、県産の商品も多く取り揃えている。



店頭では、小鳥、小動物、観賞魚などの生体の取り扱いもしている。



水槽の中に水草を入れ世界をつくる「アクアリウム」も人気。

▶活用事例 **設備投資支援** 設備の導入により、経営基盤の強化を目指す企業に対し、必要とする設備を割賦販売またはリースします。  
[お問い合わせ] 設備・研究推進課 TEL.018-860-5702